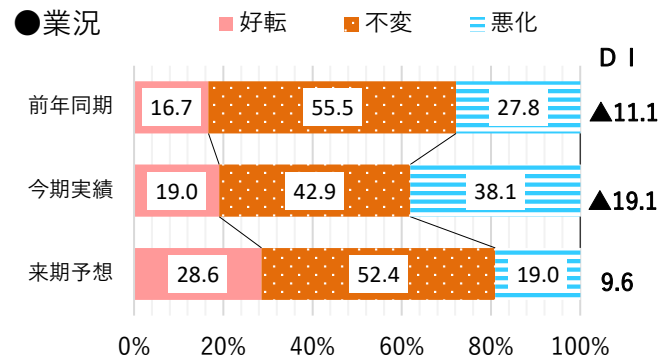


# 卸 売 業

## 業況、売上、採算

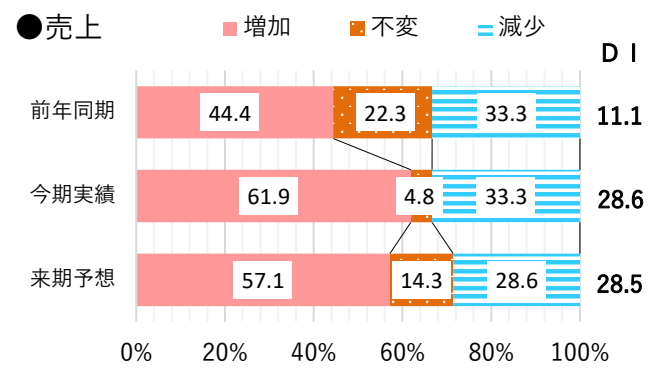
今期(2022.10~12)の業況判断DIは▲19.1で、前年同期(2021.10~12)と比べ8.0ポイント低下しました。

来期(2023.1~3)は、業況がプラスに転じると予想しています。



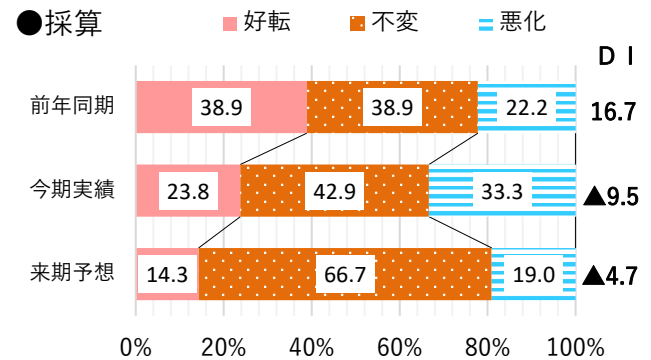
今期の売上DIは28.6で、前年同期と比べ17.5ポイント上昇しました。

来期は、売上のほぼ横ばいを予想しています。

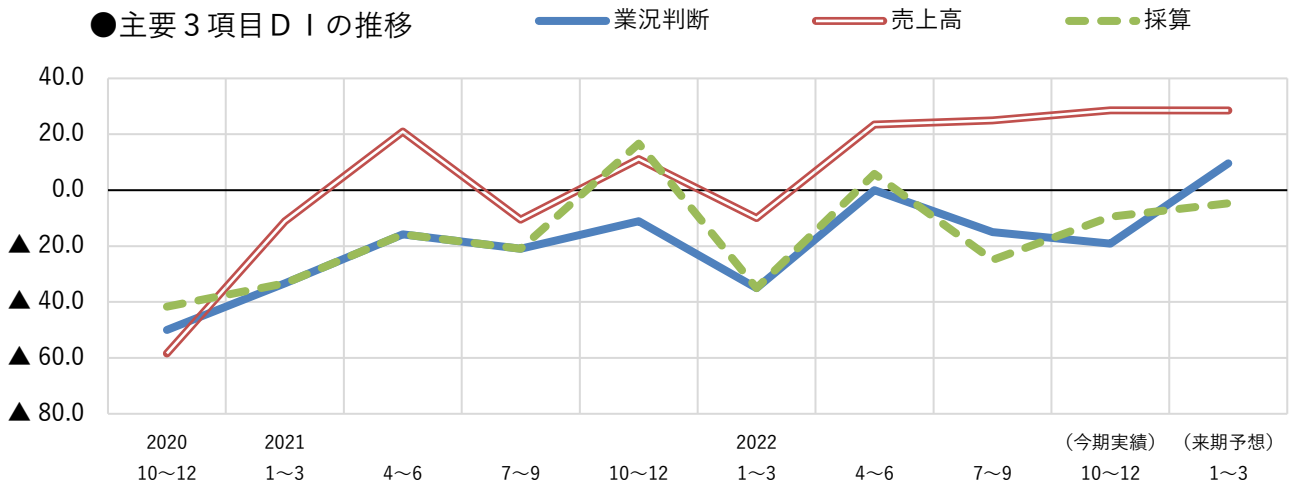


今期の採算DIは▲9.5で、前年同期と比べ26.2ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



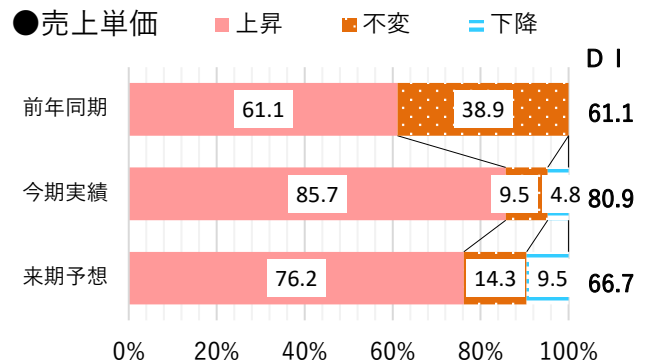
### ●主要3項目DIの推移



## 売上単価、商品仕入単価

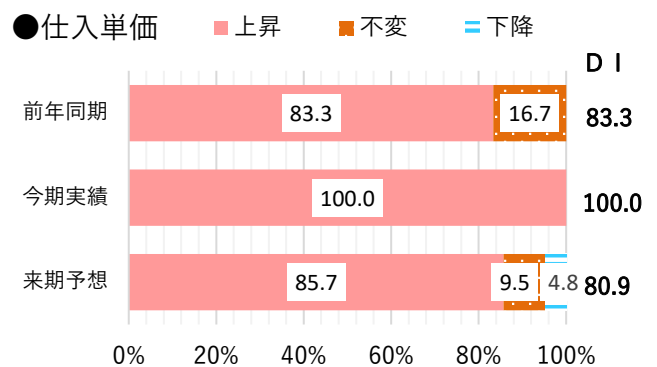
今期の売上単価DIは80.9で、前年同期と比べ19.8ポイント上昇しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは100.0で、前年同期と比べ16.7ポイント上昇しました。

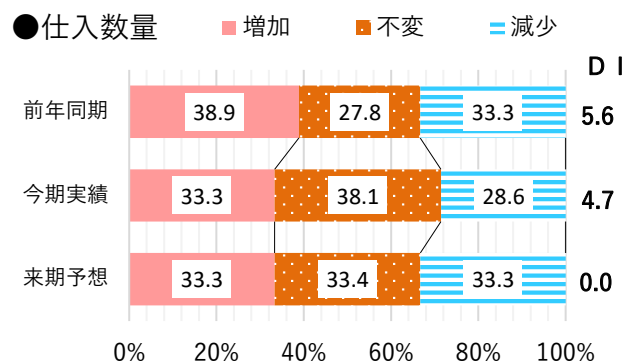
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



## 商品仕入数量、商品在庫数量

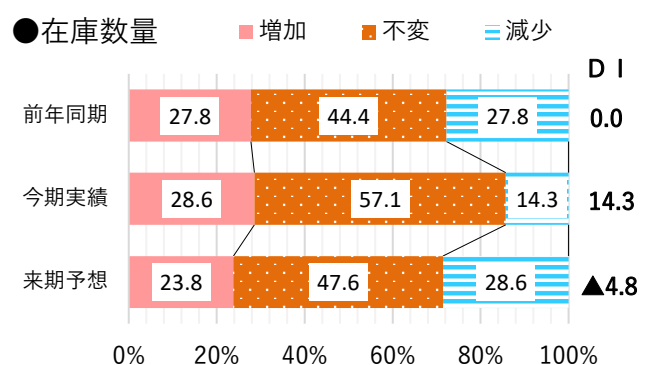
今期の仕入数量DIは4.7で、前年同期と比べ0.9ポイント低下しました。

来期は、仕入数量の増加傾向が弱まると予想しています。



今期の在庫数量DIは14.3で、前年同期と比べ14.3ポイント上昇しました。

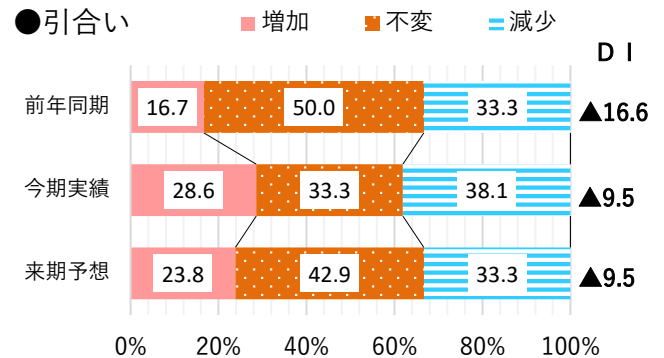
来期は、在庫数量がマイナスに転じると予想しています。



## 引合い

今期の引合いDIは▲9.5で、前年同期と比べ7.1ポイント上昇しました。

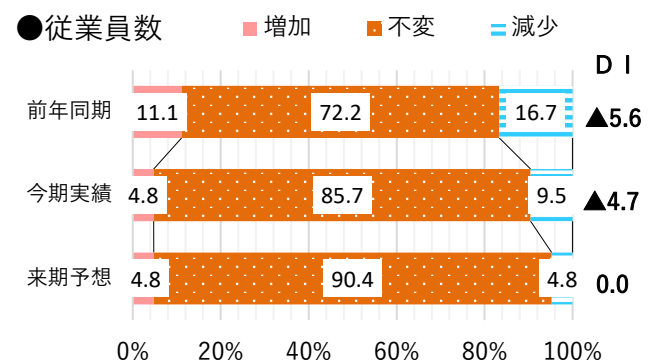
来期は、引合いの横ばいを予想しています。



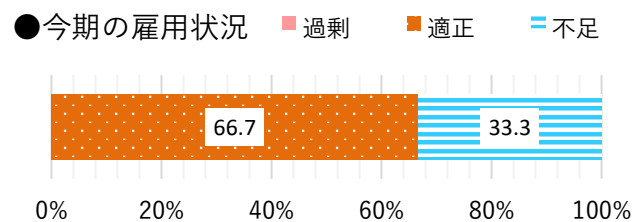
## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲4.7で、前年同期と比べ0.9ポイント上昇しました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は66.7%、不足していると回答した企業の割合は33.3%でした。



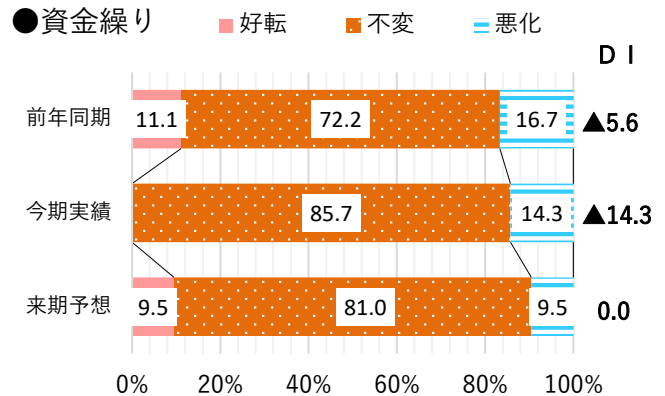
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の66.6%を占めており、不足と回答した企業は約3割でした。

| 今期従業員数 | 今期の雇用状況 | 回答数 |
|--------|---------|-----|
| 増加した   | 過剰      | 0   |
|        | 適正      | 0   |
|        | 不足      | 1   |
| 不変だった  | 過剰      | 0   |
|        | 適正      | 14  |
|        | 不足      | 4   |
| 減少した   | 過剰      | 0   |
|        | 適正      | 0   |
|        | 不足      | 2   |

## 資金繰り、設備投資

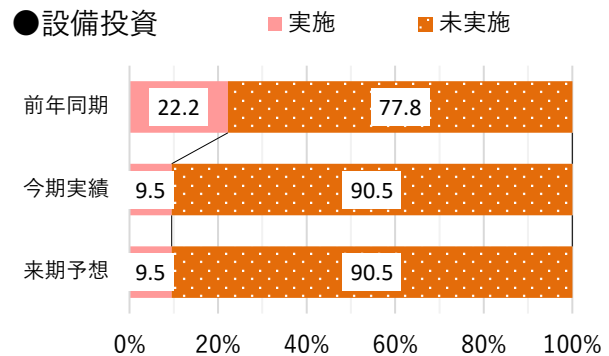
今期の資金繰りDIは▲14.3で、前年同期と比べ8.7ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。



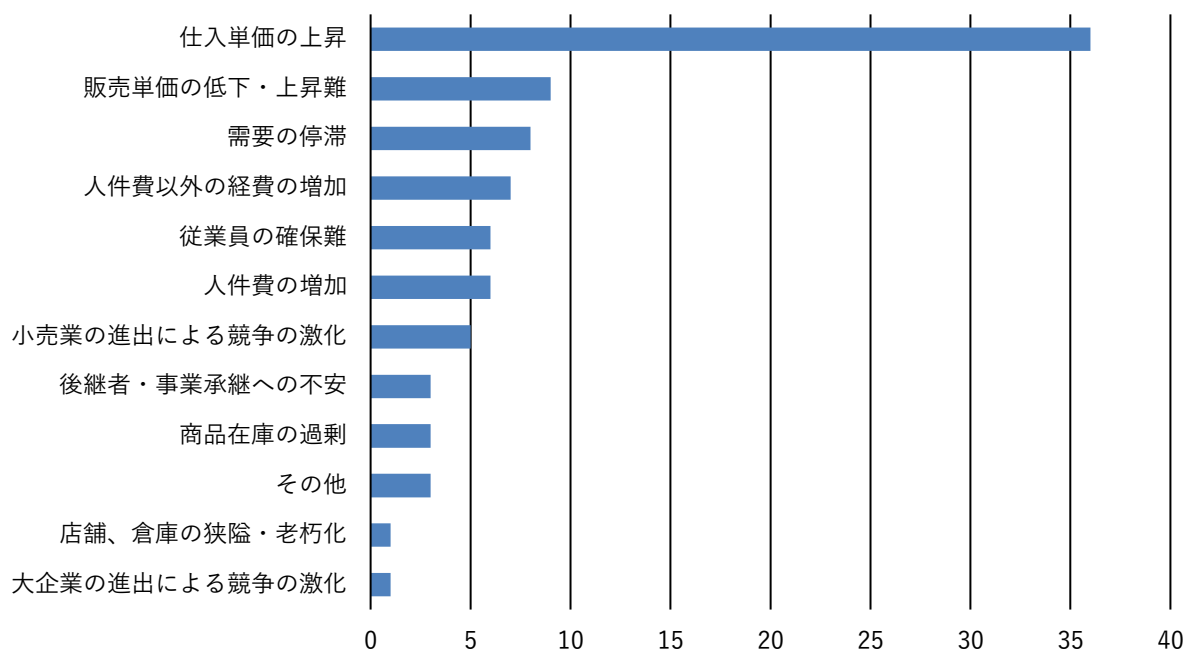
設備投資を実施した企業の割合は9.5%で、前年同期と比べ12.7%減少しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、「倉庫」(同位)でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は9.5%で、横ばいを予想しています。



## 経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「販売単価の低下・上昇難」、3位が「需要の停滞」の順です。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- 商品仕入額の値上げや、原材料不足により仕入が困難な状況が続き、年末に向けての見通しが立たない。  
(食料・飲料卸売)
- メーカーで新車の生産が遅れていることから、車を買わずに車検の更新をする顧客が多く、部品の売上は安定しているが、車の流通が滞る状況は好ましくない。(自動車部品)
- コロナ禍による売上の減少と、仕入価格の上昇による利益の減少で不況だった。(事務用品)
- 多くの商品で仕入価格が上昇したが、価格転嫁ができず苦労している。(建築材料)
- 昨年度の雪害の影響で、夏以降の外装工事が例年より多かった。(建築材料)
- 石油製品の高騰により業況は悪化した。(石油卸売)
- 商品の値上げが多かった。(包装資材卸売)
- 仕入価格は上昇を続けている。価格転嫁時の適正な利益設定が難しい。(塗料卸売)

## [来期の業況について]

- 仕入価格の上昇に歯止めが利かず、厳しい年になるだろう。(食料・飲料卸売)
- 仕事の流れ、車の流通が改善しなければ好転しない。売上は降雪量に左右される。(自動車部品)
- 新型コロナウイルス流行の影響はないと思われる、売上、利益の増加に期待する。(事務用品)
- 閑散期のため、業況の悪化を見込む。(建築材料)
- 石油製品価格の上昇が少し落ち着くと思われる。(石油卸売)
- 原材料の値上げ傾向が落ち着くまで予想は難しい。(包装資材卸売)
- 原材料仕入価格の上昇が続くと思われる。(塗料卸売)